

業務詳報

一 給養事務所開設及閉鎖日時

開設日時

昭和十三年四月二十三日午前七時

閉鎖日時

昭和十三年四月二十五日午後六時四十分

給養委員ノ編成及服務要領並任務分擔附表第一第二ノ如シ

二 給養委員長ノ規定セシ事項附録第一ノ如シ

三 任務ニ基ク給養計畫及之カ給養ニ關シ輸送指揮官ト連絡事項附録第二第三ノ如シ

四 給養委員ノ通過部隊到着前ニ處置セシ事項
ノ屯營出發前ニ處置セシ事項

城津驛長憲兵分遣隊長、警察署長、在郷軍人分會
長ニ對シテ電話及電報ヲ以テ給養實施ニ關シテ援助方ヲ
依頼ス同時ニ給養方針並各委員ノ主要任務前第二項ノ
分擔ヲ爲ス

2. 給養委員四月二十日午後十時三十分羅南駅發列車ニ依リ
出發四月二十日午前二時十五分城津驛ニ到着ニ直ニ駅長
ト打合セテ行ヒ本屋^{上屋}事務所ヲ開設スルニ準備ヲナス
3. 二十三日午前七時事務所ヲ開設シ同事務所ニ駅長憲兵分
遣隊長代理、警察署長、在郷軍人分會及城津邑事務所代
表者並國防婦人會理事等ノ參集ヲ求メ給養實施ニ
針ノ指示トテ方援助並歡送迎ニ關スル打合セヲ行ヒ附

第三如ク援助擔任區分ヲ協定ス

次テ料理組合代表者四名ヲ事務所ニ召集セシメ給養計畫ノ方針ニ基テ諸注意ヲ與ヘ協議ノ結果左ノ一名ニ辨當ヲ請負ハシムルコトニ決定セリ

之ク請書附録第四ノ如シ

城津旭町 麻田三郎

一方衛生部員ヲシテ當地附近ニ於ケル傳染病發生狀態及停車場ニ於ケル^{特設}厠ノ狀態並ニ之カ消毒及當地方ニ於ケル水質ノ調査ト地方醫師又ハ病院ノ患者收容力等ノ調査ヲ爲シ^第一變ニ備ヘシム

輸送部隊ノ狀況

(一) 尾高部隊(北上部隊)

1. 輸送部隊ノ軍紀風紀概テ嚴正ニシテ志氣旺盛ナリ

2. 輸送部隊ノ衛生状態、軍醫ヨリテ同部隊ト連絡セシメタル

モ出發以來一名モ患者發生セス其成績良好ナリ

3. 特ニ將來參考トナルヘキ事項ニ就テ

(1) 輸送部隊ニ對スル給養委員ヨリ、連絡ハ便利主義ニ陥

ルコトナク確實主義ト爲スノ要アリ

例ハ給養停車場ヨリ輸送部隊ノ輸送途中驛ニ豫

メ書類ヲ送付シ置キ、駅員ヲ通シシカ、連絡ヲ圖ルカ如キ

ハ至極不確實ナルモノ、如ク特ニ其馭ニ於ケル輸送列車
ノ停車時間僅少ナル場合ニ於テ然リトス之カ爲今回ハ途中
迄連絡者ヲ派遣シ書類ヲ交付シテ連絡ニ努メタル結
果確實ニ連絡スルヲ得タリ

而シテ連絡事項ハ各種ノ事情ニ依リ徹底充分ト認メ
難キモノアリタリ

(2) 輸送部隊乗下車特ニ發車前後列車ニ近接シ過キ
危険防止上注意ヲ要スルモノアリ

(3) 歡送者ニ對スル部隊ノ態度ハ概不良好ニシテ特ニ注意
ヲ要スル者ヲ見聞セス

4 輸送部隊ノ下士官兵ニシテ歡送者ノ歡送ニ熱狂ノ爲敬
禮動作嚴正確實ヲ歎クモノアリ特ニ帽ヲ脱シ附近ヲ
歩行スルモアリタルハ適當ナラス

5 乗下車ノ動作ハ各種ノ事情ニ依リ整齊確實ヲ歎キ勝
手ニ乗下車ヲ爲スモノ若干名アリ

6 歡送者ニシテ煙草等ヲ輸送部隊下士官兵ニ寄贈シ
テ現況ヲ目撃シ感激ニ堪ヘサルモノアリ

(二) 森村伴倉部隊(南下部隊)

ノ輸送部隊ノ軍紀風紀ハ概テ嚴正ナルモ一部ノ者ニシテ
下車命令ナキニ拘ラス停車ト同時ニ下車セルモノ或ハ
列車ノ發車直前ニ湯茶ノ補給ヲ要求シ輸送指
揮官ヨリ注意ヲ受ケルモノ又ハ給養委員ヨリ連絡者
ヨリテ危險豫防上禁示ヲ要求セル標示個所以外線
路ヲ攔リニ横断シ驛職員ヨリ注意ヲ受ケシモノ又ハ
靴足ノ儘便所ニ行クモノ等アリ
但シ給養委員ヨリ交付スル分配誘品ノ受領ハ迅
速齊整ニ行ハレタリ

1077

2. 衛生状態ハ一般ニ良好ニシテ元氣旺盛ナリ而シテ軽度ノ頭痛咳嗽ヲ祇ル者ニ三名アリタルヲ以テ投薬セリ尚明示シタル特設厠アルニモ拘ラス馱構内ニ放尿スル者多カリシハ遺憾ナリ

尚瘧症患者アリタル旨成興給養委員ニ通報ス

3. 特ニ將來参考トシテハキ事項ニ就テ

(1) 輸送部隊ニ對スル給養委員ヨリノ連絡事項並之カ要領ニ就テハ尾高部隊ノモシ

(2) 各級指揮官就中分隊長若ハ下士官ハ嚴重ニ兵ノ行動ヲ監視シ兵ヲシテ失態ナカラシムル如ク努ムルヲ要

又否サレハノ項ニ記述セルカ如キ事項ヲ繰返スナラン
(3) 指揮官ハ乗下車等ニ關シ明確ニ號音ヲ以テ命令スルノ
要アリ否サレハ用便等ノ爲勝手ニ乗下車シ不軍紀ト
ナルコトアリ

4 歡送者ニ對スル部隊ノ態度ハ良好ナリ

給養實施ノ景況

(一) 尾高部隊

ノ尾高部隊ニハ軍ニ湯茶ノ補給ヲ爲シタルニモ々々モ當地
各種團體ノ積極的ニ援助ニ依リ之ヲ準備並補給ヲ十
分爲シ得タルヲト認ム而シテ湯茶ハ五ヶ所ニ準備セリ尚構
内ニ日用品販賣所ヲ設置シ部隊ノ便ヲ圖リシ處利用

スルモ、相當アリタリ

尚、厠及洗面所ハ特設セルモ、ヲ使用ニ供セリ

森村保倉石部隊

職員、在郷軍人分會、特國防婦人會員及愛國婦人會員ノ積極的ニ援助ニ依リ給養ノ諸準備並實施共ニ圓滑ニ行ヒ得タリ

之辨當ハ給品ノ分配要領並輸送部隊ニ對スル連絡ニ関シテハ之等事項ヲ記述セル書類ヲ羅南取ニ派遣セル連絡者ニ依リ交付セシヲ以テ充分徹底シアリテ豫メ調査セル列車搭載人員ニ依リ區分ニ五ヶ所ニ排列シテ別紙附表第

三地方側援助擔任區分表ノ如ク夫々援助ヲ受ケ委員
 監督ノ下ニ配給セシムル爲迅速公平確實ニ實施シ得タリ
 湯茶ハホ一ムニ四ヶ所ニ準備シ別紙附表第三地方側援
 助擔任區分表ノ如ク接待ニ努メタル結果十分ニ補給ス
 ルヲ得タリ

々其他構内ニ於ケル日用品ノ販賣、廁、洗面所等ニ関スル設
 備ハ尾高部隊ニ同シ

分辨當及供給品ノ請負者ニ左ノ諸注意ヲ爲ス
 一 調理作業開始前、^{調理場} 調理場請負人、所ニ趣キ諸材料ノ検査調理人
 ノ健康状態、調理場清潔状況ヲ検査シ果物消毒水及手消毒水ヲ調
 整交付^{此等} 此等使用上ノ注意ヲ與ヘ尚驅場實施ヲ行ハシメ調理作業開始

ノ時期ヲ午後十一時ト指示セリ

口調理作業貫施前ニ見本調理提出セシメ検査セルモ支障ナシ

ハ調理作業開始ニ立會シ裏ニ注意セル諸注意ヲ監視カレルニ實行シアル

ヲ浴具マスクリヲ使用^ル作業開始ヲ命シタリ

二一方如給品タルリニハ四週ニ準備セル消毒水(クローホルキ)ニ依リ消毒ヲ

行ハシム

6 給養ノ献立附録第二献立豫定表ノ如シ

口前各項ノ給養人員並其他臨時給養人員^{セル}附表第四

如シ

七今次ノ給養ニ於テ携行藥物消耗數左ノ如シ

携行薬物消耗表

備考	台	四		日	分隊	號	器具	錠	健胃錠	葎莖錠	昇汞錠
		二十五日	二十四日								
昇汞錠ハ特設廁竝調理人ノ手洗消毒用ニ使用セリ	計	歩	尾高部隊	一	八	九	二	一	二		
		七									
		四									
		三									
		九	六								
		二									
		二									
		一									
		二									

給養終了後ノ處置

(一)尾高部隊

ノ列車ハ豫定ノ如ク午後十一時城津ヲ發車シ茲ニ於テ城津ニ於テ給養ヲ終了シ師團長聯隊長ニ其旨打電ス

尚輸送列車發車ト同時ニ羅南給養委員ニ輸送人員
及羅南下車人員等ニ關スル事項ヲ通報ス

之ヲ四日午前二時迄ノ給養ニ關スル諸準備ヲ完了シ勤
務員ヲ事務所ニ在置シ其他ハ一時宿舍ニ引上リ茲ニ於
テ尾高部隊ニ對スル給養ハ全ク終了セリ

(三) 森村伴人倉石部隊

ノ列車ハ豫定ノ如ク午前十時十五分城津着二十五分停車
ノ後午前十一時城津ヲ發車ス茲ニ於テ城津駅ニ於ケル
給養ヲ終了セシヲ以テ師團長及聯隊長ニ此ノ旨打電
スルト共ニ師團佐井參謀ニ給養委員長ヨリ電話連絡

セリ

尚咸興駅給養委員及羅南給養委員ニモ夫々通報
セリ

2午後今回ノ給養ニ關シ協力セシ官公所ヲ訪問シ
大志協力並勞苦ニ對シ謝意ヲ表セリ

九事務所閉鎖前後ノ處置

1午後六時五十分頃咸興給養委員ヨリ第二十師團既屬
部隊、咸興驛發車セルノ通報ヲ受領セルモ以テ茲ニ
城津給養委員事務所ヲ閉鎖シ同時ニ電報ヲ以
テ師團長聯隊長ニ事務所閉鎖ノ報告ヲ爲ス

之事務祈閉鎖後開設ノ爲借用諸物呂ノ返納並歸
還ノ準備ヲ行ヒ他ニ歸還列車ナキヲ以テ二十六日午前
三時三十五分城津駅發列車ニテ二十六日朝歸隊ス
○將來ニ對スル意見

(一) 一般的事項

ノ城津駅ニ於テ輸送諸施設ニ就テ

城津駅ニ於テ現輸送諸施設ノ規模ノ小ナルト設計設
備ノ不備ナルモノアリテ大部隊ノ輸送給養實施等ニ不
備支障ヲ來スナラン將來海上輸送ニ於テ上陸部隊
ノ輸送ニ之ヲ想到スル時ハ益々其感ヲ深カラシムルモ

ノアリ

2 城津邑ノ輸送部隊ニ對スル給養能力ニ就テ

輸送途中ニ於テ城津邑給養能力ハ百三五〇乃至
五〇〇名ハ可能ナルモト認ム

即チ辨當製造可能ナル料理業者現在最少五名ヲ
有シ現在狀態ニ於テモ一名ヲ以テ之ニ全力ヲ傾注スル時
ハ平均七〇乃至八〇名ノ行厨ハ製造シ得ヌカ如シ
3 部隊輸送ノ指揮ニ就テ

輸送部隊各指揮官ノ命令ハ適確ニ令スルヲ要ス特ニ
乗下車ノ命令ニ関シ然リトス

今次各輸送部隊ハ概シテ適確ナル命令ヲ下達セル
モ喇ハヨ携行シアラサルヲ以テ命令稍不徹底ナリシ
向アリタリ

ハ歡送者ニ對シテ輸送指揮官ノ答禮ニ就テ

熱誠ヲ以テスル内鮮人ノ歡送ニ對シテ輸送指揮官ハ之ニ
應スル態度相當誠意ヲ込メタル答禮ヲ必要トス

ハ諸連絡ニ就テ

諸連絡ハ今回實施セル如ク確實主義ヲ採用シ連絡
者ヲ必遣ミテ之カ確實ヲ期スルノ要アリ便利主義ニ
陥ル馭員ヲ痛ミテ連絡セントスルカ如キハ多クハ不確實

ニ終ルコトヲ顧慮セサルヘカラス

6 臨時設備材料ノ設備ニ就テ

將來屢々給養停車場トシテ使用セラル、停車場ニ相
ノ設備材料ヲ常時整備シ置キ其都度借用等ノ
繁ヲ減少スル要アリ

軍部ヨリ之ニ要スル材料ヲ官給シ又ハ相等經費ノ補
助ヲ爲ス等ハ豫算之ヲ許サハルハ貫情ニアルモ何レ
ノ方法ニ依リ之ヲ常時整備ヲ爲シ得ルハ至便ナリ
又謝禮又ハ損料等ノ支拂ニ就テ

設備器具諸物品ノ借用ヲ委員ニ於テ爲シタル場合

ハ相等ト認ムル謝禮又ハ損料ハ軍ニ部隊ノ當然ナル
奉仕トシテ看過スルコトナリ必要ニ應ジ相當損料ヲ
支払フヲ可トス即チ供給者補修ノ負担ヲ軽減シ得テ
借用利用等ニ永續性ヲ與ヘ得レハナリ
ト衛生ニ関スル事項ニ就テ

イ各停車場給養委員ハ輕患者ト雖相互ニ通報スルヲ
要ス

城津停車場ニテ歩兵第七十四聯隊配屬部隊ニ投藥
セシ旨連絡セシニ無事入院セル旨後刻通報アリタリ
ロ各部隊附衛生部員ハ停車場委員(衛生部)ト連絡

スルヲ要ス委員ヨリ尋ネテ始メテ自己部隊衛生状態ヲ
通報スルハ遺憾ナリ且又停車時間長キ時ハ部隊ヲ
巡視スルヲ要ス

貨車内ニ小厠設置スルヲ要ス列車到着スルヤ否ヤ
下車命令ヲ待タス他ノ列車構内へ入り来ルニ拘ラス厠
ニ走り行クモノ(甚ニキハ脱帽跣足ノ儘)及線路上ニテ放
尿スルモノ等多数アリ

之レヲ見ルニ如何ニ兵々長時間我慢シアルカヲ推察シ
得ヘン

設備ハガリキ糞糞~~糞~~板ニテ圍ミ其底部ヨリパイプニテ

列車外ニ排出スル程度ニテ可ナラン

々特設厠ハ構内之ヲ許ス場合努メテフラントホーミン函
端ニ設備スルヲ可トス線路ヲ横断シテ行ク所ニ設
備スルハ危険ニテ又時間ヲ要スルヲ以テ不可ナリ

1092

二其他ノ部隊ニ對シテ給養實施其他

ノ委員服務期間中給養担任部隊外ニシテ左ノ通部隊
通過ス

四月二十五日 午前六時着 歩七四配屬部隊ニ〇二名
同 六時四十分發

四月二十五日 午後四時三十分着 惠山鎮行原田部隊一二九名
同 〇時四十分發

歩七四配屬部隊

歩七四配屬部隊ニ對シテハ二十三日午後同部隊給養係

ヨリ辨當準備依頼ニ關スル連絡アリ委員ハ直料理組

合下連絡方針諸注意ヨ含メテ左記ノ者ヲシテ納入

セシムルコトニ決定ス

城津

本町 深掘 ハル子

湯茶ノ補給ニ關シテ、在郷軍人分會ト協定シ諸準備
ヲ完了ス

二十四日午後五時輸送部隊給養係來津直ニ準
備状況ノ連絡調理場ノ巡察ヲ實施スルト共ニ在郷
軍人分會一殿及各種婦人會邑等ニ所要ノ連絡ヲセリ
二十五日豫定ノ如ク部隊到着一同志氣旺盛、軍紀嚴
紀亦概テ嚴正ナリキ部隊ニ對スル湯茶補給辨當
及給品ノ分配等在郷軍人分會婦人會ノ助力ニ依リ
迅速順調ニ實施セラレタリ

輸送部隊ノ衛生状態ハ概不良ナリシモ軽度ノ上腹
部疼痛ヲ訴スル者ニ名頭痛並咳嗽ヲ訴スル者五名ア
リ直ニ投薬セリ

給養其他ニ對スル諸設備ハ前日通過部隊ニ對ス
ル其儘應用セリ

三 寒山鎮出動部隊

機隊並憲兵ノ通報ニ依リ二十五日正午頃本部隊ノ通
過ヲ知ルマ直ニ咸興、步七四ト所要ノ連絡ヲ行ヒ湯茶
補給ヲ行フニ決シ直ニ在郷軍人分會ト連絡ニ補給
ノ準備ヲ完了ス

零時三十分到着一同元氣旺盛軍紀風紀極メテ

嚴正ナリ

湯茶補給ハ歩七四配屬部隊ニ準シ迅速順調ニ實
施セラレタリ

衛生状態ハ良好ニシテ特ニ記スヘキ事項ナシ

夕將來ニ對スル意見

設置委員ニ於テ通過ヲ豫期セサル部隊或ハ通過
時刻ヲ確實ニ承知スル能ハサル部隊等ニテ給養委
員設置停車場通過スル場合就中ニ對シ所要ノ
給養ヲ實施スルノ必要アル場合通過部隊又ニ之等

ヲ承知シアル機關ヨリ豫メ通週時刻給養區分人
員等所要事項ヲ設置委員ニ通報スルヲ要ス然レ
テ諸準備ノ致陋給養ノ的確ヲ欠クノ恐アリ

附表第一

<p>城津停車場給養委員編成服務要領</p>		委員	人員
		助	員
尉官 一	下士官 一	全員より第十九師團配屬人員ニ對テ湯茶ノ補給ヲ	開設
主計尉 一	官 一	留守第三十師團配屬人員ニ對テ晝食用辨當交	撤収
官 一	兵 六	付及湯茶ノ補給ヲ為ス	留守第三十師團配屬人員輸送列車成興發車直後トス(概テ午後六時五分頃ト豫定ス)
軍醫尉 一	(内衛士兵 二名)		

城津給養委員任務分擔表

委員及助手	任 務	行 事 / 概 要
笠間中尉 篠崎軍曹 石川上等兵 川井一等兵 岩瀬上等兵	1. 全般指揮 監督 2. 軍隊及鐵道當局並地方官民 連絡及之指揮 3. 停車場構内 警戒、為輸送部隊及憲兵警察 連絡協調	1. 屯營出發前 2. 給養計画、方針決定 3. 委員及助手業務分擔表、調製 4. 關係各所連絡(驛長憲兵在知軍人會國防婦人會邑事務所) 5. 防護予防ニ關スル件 6. 事務所開設後 7. 予日前關係各所代表者ヲ城津駐參集ヲ求メ給養輸送ニ關スル打合せヲ爲ス 8. 城津駐長ト連絡給養停車場設置ニ關スル打合せ 9. 軍隊輸送指揮官ト連絡 10. 陣中日誌及詳報ノ記載 11. 隣接給養停車場連絡
鳥羽主計少尉 内山主計曹長 高畑二等兵	1. 給養實施一切業務 2. 給養諸材料、調製 3. 請負者ト連絡 4. 經理一切業務	1. 屯營出發前 2. 電話ヲ以テ辨當所要敷献立、概要所要日時等ヲ請負者ト連絡 3. 献立表、調製 4. 給養停車場開設後 5. 辨當供用請負者ト契約締結 6. 給養諸材料、調製 7. 予日於ケル湯沸所、位置及辨當排列交付所等ニ關シ駐長ト打合せ 8. 納入品、検査 9. 輸送部隊ニ給養品、交付
吉武軍醫少尉 山本衛生軍曹 小沼衛生上等兵 中里衛生上等兵	1. 城津停車場ニ於テル給養衛生ニ關スル一切業務 2. 患者救護ニ關スル一切業務 3. 防疫及檢疫ニ關スル一切業務 4. 羅南威興停車場兵站醫官ト連絡	1. 屯營出發前 2. 携行衛生材料、決定 3. 業務開設後 4. 四月三十日午前、時城津停車場ニ於テ衛生事務所開設 5. 警署憲兵隊ト連絡シ城津邑於テ傳染病發生状況ニ飲料水質、調査 6. 特設厠、衛生状況調査 7. 辨當供用請負者取内販賣及其關係者健康状態ヲ調査シ衛生注意ニ關シ防務場並行所、保清配煙ヲ與ヘ食品調理實施ヲ監視シ尚納金並販賣品検査ヲ入 8. 依地入院スル患者發生時、關係病院ト連絡シ收容能力、調査 9. 羅南威興停車場兵站醫官ト連絡

備考	五 警 戒		四 迎 送 通 知 及 統 制			三 湯 茶 補 給			二 辦 當 配 給 準 備 及 實 施		一 辦 當 及 分 給 函 驛 一 運 搬 指 導 監 督		任 務	地 方 側 援 助 擔 任 區 分 表	地 方 團 體 名 人 員 摘 要		
	警 官	警 察 官	憲 兵 分 遣 隊	在 御 軍 人	邑 吏 員	警 察 官	警 察 官	憲 兵 分 遣 隊	在 御 軍 人	國 防 婦 人 會	在 御 軍 人	在 御 軍 人	警 察 官	在 鄉 軍 人	在 鄉 軍 人	地方團體名人員	
一本表外軍事後援聯盟及邑吏員等各々之協力セリ 二本表人員ハ其繁閑ニ依リ夫々協力セリ			三名	八名	三名	三名	四名	三名	五名	四名	四名	四名	六名	五名	一名	三名	二名

附表第四

給養人員表

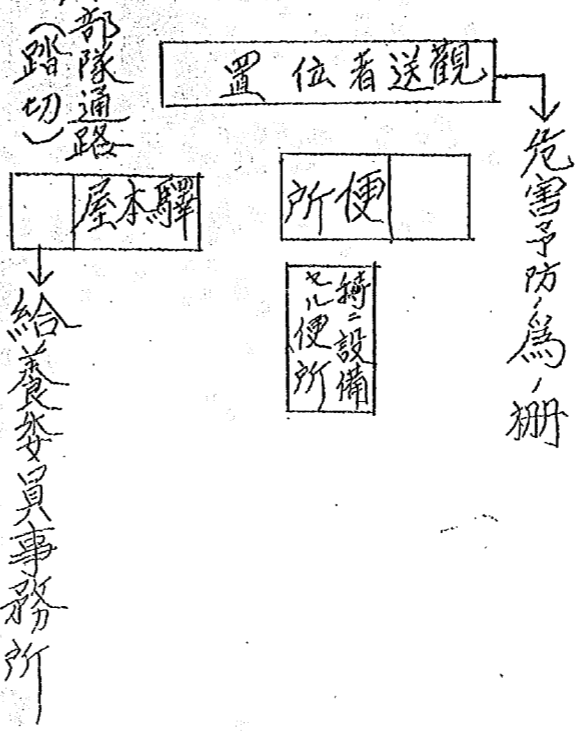
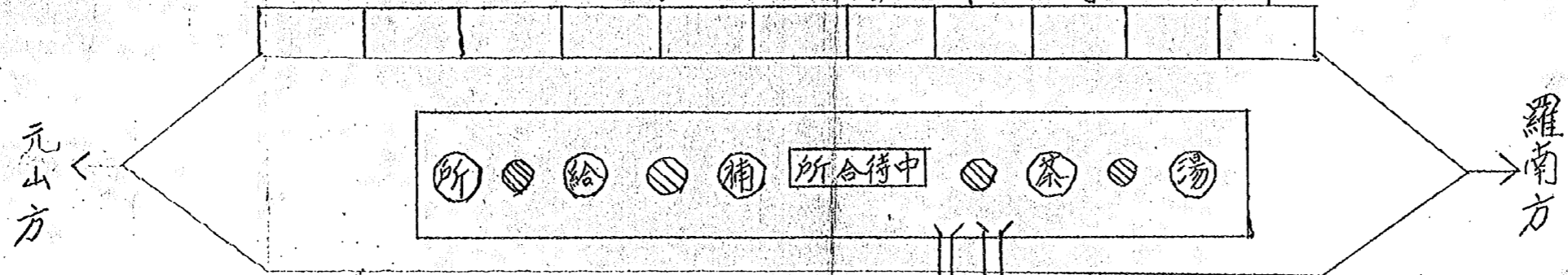
備考	人員合計	粟山鎮派遣部隊		歩七四配屬部隊		森村倉石伴部隊		尾高部隊		部 隊 別 給 養 人 員 計 摘 要
		四二五	六	四二五	一	四二五	一二七五三七六五	四二三	六五五八五六四	
	二五	五三五	一三九	一〇一〇二	命令ニキモ臨時給養ス					
	五六〇									

1101

19

城津停車場設備要圖

軍用列車着位置

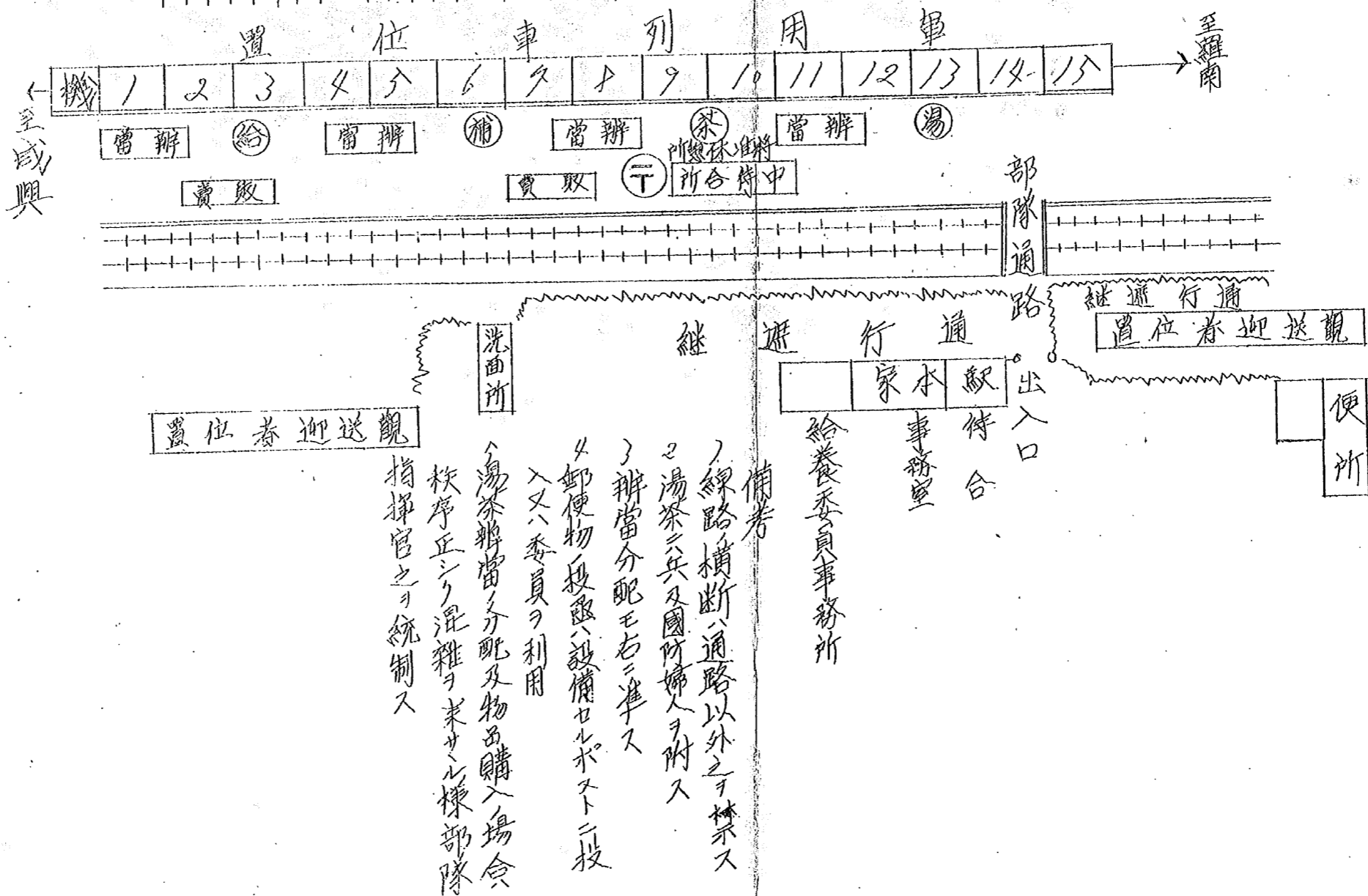


- 洗面所
- 湯茶ハ四ヶ所ニ準備シアリ
- 地方團體之カ配給當務行制
- 用セラレ度
- 危険予防上通路以外線路ヲ横
- 断セラレ様注意アリ度
- 八日用品販賣予定位置
- 郵便物ヲ待合所附近ヨリスライ
- ヲ準備スル予定
- 便所三ヶ所ヲ使用スル可ナリ
- 備考

城津停車場設備要圖

(於四月二十二日三十一日)

附圖第一



附録第一

給養委員長ノ規定ニ事項

一 本規定ハ四月二十三日第十九師團配屬人員及四月二十五日留守第二十師團配屬人員ノ城津停車場通過ニ際シ之ヲ輸送人員ニ對スル給養實施ニ關シ所要ノ事項ヲ規定スルモノトス

一 給養委員ハ四月二十二日午後十時三十分羅南驛發列車ニテ出發城津驛ニ至リ同所ニ給養委員事務所ヲ開設ス
服裝其他細部ニ關シテハ別ニ指示ス(城給命第一号)

一 給養委員ハ左腕ニ薄色白布ヲ附ス

一 驛構内ニ假設便所及洗面所ヲ設置ス其細部ニ關シテハ現地ニ於テ指示ス

構内ニ於テ輸送部隊ノ爲日用品ヲ販賣セシム

構内ニ一時輸送部隊~~ヲ~~郵便投函^物ノ爲ポスト^トヲ設置ス

輸送部隊タルト歡送人タルトヲ問ハス構内線路ノ横断ニ標示位置(踏切)ノ外之ヲ禁ス

輸送部隊ニ對スル配給諸員ハ之ヲ受領責任者以外ニ之ヲ交付セズ該責任者ハ受領人員ヲ記入セル受領証ヲ携行スルモノトス

便所以外ノ排便ヲ禁ス

驛構内ニ對スル所要ノ施設(標示ヲ除ク)ハ驛員之ヲ担任スルモノトス

其他ノ事項ニ關シハ現地ニ於テ指示ス

附
城津停車場給養任務之基ヲ計畫

委員長

笠間中尉

服務期間

自昭和十三年四月二十二日
至全 年四月二十日

方針

通過部隊ニ對スル給養ハ獻立ノ適正分配ノ迅速公平
ト食中毒ノ絶對防止ヲ期シ以テ善良ナル給養ヲ遂
行スルニ在リ

要領

一給養

ノ北上部隊ニ對スル給養

ノ給養人員ノ輸送計畫ニ基キ五六二名車輛數八九車

輛ト豫定ス

口列車到着八二十三日午後十時四十一分十九分間停車ト

豫定ス

ハ給養區分ハ湯茶ノ補給ノミトシ其實施要領ハ左記ノ如シ

A 設備

湯桶ハ二車輛ニ付約一ケ宛トシ清潔ナル四斗樽ヲ以テス各樽ニ柄杓及漏斗ヲ各十ケ宛附屬シ各樽ニ分配係各樽兵一名地方人(國防婦人會員充當)五―六名ヲ附シ位置標示(立札)ヲ爲ス器具ハ城津驛ニ依頼準備ス設備ノ要領附圖第一ノ如シ

B 湯茶補充(樽ハ補充)

在郷軍人會鐵道分會ニ依頼シ水道水ヲ以テス

C 所要經費

給養人員一名ニ付一乘以内トス

D 部隊トノ連絡

豫メ委員長ヨリ輸送指揮官ニ對シ準備ノ狀況ヲ連

絡シ輸送指揮官ヨリノ要求ハ努メテ之ヲ容ル、如クス連
絡點ハ咸興トス

二日用品ノ販賣

ノ構内販賣品ハ部隊疲勞ノ情况等ヲ推察シ飲食品ハ
衛生上支障ナキ干燥菓子類及清涼飲料等限定シ
兵員ノ必要ナル日用品ヲ主トシテ販賣セシム

品目價格等ニ關シテハ輸送指揮官連絡ス

販賣人ハ驛指定構内販賣人トシ價格ハ豫メ委員ト
協定シ之ニ對シ承認ヲ與フ

ノ南下部隊ニ對スル給養

ハ給養人員ハ輸送計畫ニ基キ七六一名車輛數ハ十五車
輛ト豫定ス

ハ列車到着ハ二十五日午前十時十五分二十五分停車ト豫
定ス

ハ給養區分ハ晝食食用辨當ノ交付及湯茶ノ補給トシ

其實施要領ハ左記ニ依ル

(一) 辨當交付

A 献立

附表第二ノ如シ

B 請負者ノ決定

現地ニ於テ献立ヲ示シ所要ノ注意ヲ與ヘ醫官ノ實施調査ト相俟テ供給者ヲ決定ス

C 設備

配給所ハ十五車輛ニ付四ヶ所設備シ各車輛人員

ニ應ジ列車順序ニ區分排列ス

各配給所ニ將校以下ヲ以テ一名地方人(國防婦人

會員)五ノ六名ヲ附シ所要ノ位置標示ヲ為ス

分配其他ハ城津驛ニ依賴準備ス

設備要領附圖第一ノ如シ

D 分配後ハ給養兵額簿ニ輸送指揮官ノ受領証明

印ヲ徴スルモノトス

E 部隊トノ連絡

北上部隊ノ場合ニ同シ但シ連絡点ハ羅南又ハ吉州トス

(二) 湯茶補給

要領ハ北上部隊ニ對スル場合ニ準スルモノトス

(三) 日用品ノ販賣

要領ハ北上部隊ノ場合ニ準スルモノトス

給養品ハ兩列車共到着時刻ニ十分前ニ交付準備ヲ完了シアルモノトス

給養完了後ハ給養人員(車輛別)發車時刻其他必要事項ヲ羅南及成興給養委員ニ連絡スルモノトス

驛内諸設備ハ驛長ニ交渉シ上概不附圖第一如ク之ヲ準備スルモノトス

警戒

三 衛生

警戒ハ給養委員及憲兵警察官ヲ以テシ之ニ必要ナル施設
（歡送人ノ線路ヲ横断セシメ設備等ハ駅員ヲ指導シ實施ス

食中毒傳染病及患者救護ニ萬遺憾ナキヲ期ス之カ爲

左ノ處置ヲナス

一 防疫及檢疫

一 城津附近ニ於ケル最近ノ傳染病發生狀況調査ス

一 辦當供給者構内販賣者及其關係者ノ健康狀態ヲ

調査ス

一 炊事所行厨ノ清潔驅蠅ヲ監督シ調理實施ヲ監視

スル外前述ノ通販賣品ヲ制限ス

衛生

二 軍醫ハ列車到着ト共ニ部隊附軍醫（下士官）ト連絡シ

衛生下士官及衛生兵ヲシテ列車内ヲ巡視問診觸診患

者ハ要スレハ檢温セシメ發見ニ努メ救護並醫療ヲ爲ス

ホ特設側ノ衛生狀況調査シ防疫處置ヲナス

2. 救護業務
イ 城津宿直室ニ救護室ヲ設置
ロ 依托スルハ患部發生時ニ於テ關係病院トノ連絡
ハ 羅南成興給養委員トノ連絡
四 委員長以下業務分擔及行事豫定表附表第一如シ

四月二十五日晝食献立豫定表

城津給養委員

主食(副食ヲ兼ス)

ちらしすし

品目 数量

豫定價格

干瓢 若干
 推茸 若干
 鶏卵 若干
 海苔 若干
 紅生姜 若干
 田麩 若干

〇・四
 〇・五
 〇・一

加給品
 苹果 二個

〇・五

牛乳又
 鶏卵(注音送)
 一人又ニケ

〇・一

備考

定額以内ニ於テ實現スルモノトシテ下ニ官以下、五〇〇注ニ官
 以上六〇〇トテ定ス

加藤 三
城津給停第二號

城津給養停車場給養計畫等ニ關スル件通牒

昭和十三年四月二十三日 城津給養停車場委員長笠間中尉

尾高部隊輸送指揮官殿

謹而將兵各位ノ御壯途ヲ歡送シ併セテ御

武運ノ御長久ト御健闘御祈リ申上候

俸首題ノ件當驛ニ於ケル給養實施地之ニ伴フ御依頼ニ

關スル概ネ左記要領ニ依リ手配致居候得共何分内地ト

異リ殊ニ内地人ト比較的僅少ニシテ加フルニ眞夜中ノ事

トテ小學兒童ノ觀送ヲ辞退セル結果御期待ニ添ヒ兼ネ

候ヤモ知レス候ハ共各有志ヲ始メ邑民ハ何レモ熱誠ヲ
以テ御歡送申シケル手配ヲ致居候間何卒御諒承被
下度候

左記

給養計畫ニ就テ

ノ湯茶ノ補給別紙要圖ノ如ク準備シアリ

ニ洗面所及便所ハ別紙要圖ノ如ク設備シアルニ付利用セラ
レ度

御依頼事項

ノ郵便物ノ差出ニ從來ノ経験ヨリ直接地方人ニ依頼セ
ス特別當驛ニ設備セル羽スタールニ投函セラルハカ或ハ憲

1115

兵又ハ給養委員助手タル下士官ニ投函方要求セラレ
度

之當驛ノ施設上構内線路ノ横断ハ禁止セラレ度必ス
通路ヲ通過セシメラレ度(部隊通路ト標示シアリ)其
路附圖ノ如シ

三其他

ノ構内ニ於テ左ノ自用品ヲ販賣致スヘキニ付御承知被下
尚他ノ品目ニ關シ御必要ノ節ハ成ル可當驛到蕃前
ニ連絡セラレ度當驛到蕃後直接觀送ノ地方人等ニ
努メテ購賣方依頼セラレサル様御願ヒ申上候

(1) サイダー十七支 (2) 煙草マツチ (3) 塵紙十支 (4) 仁丹十支
 (5) ママラメル五支 (6) 切手類 (7) 新聞 五支 (8) 雑誌 五支
 (9) 雜誌 五支 (10) 講談 五支 (11) 富士 五支 (12) 特別号 五支
 (13) 雑誌 五支 (14) 講談 五支 (15) 富士 五支 (16) 特別号 五支
 (17) 雑誌 五支 (18) 講談 五支 (19) 富士 五支 (20) 特別号 五支
 給養委員同助手ハ左腕ニ腕章ヲ附シテアリ萬事連絡
 御利用セラレ度
 構内ノ警戒ハ給養委員ニ於テ實施ス

城津給停第三號

城津給養停車停車場給養計畫書ニ關スル件通牒

昭和十三年四月二十三日 城津給養停車場委員長笠間中尉

森村部隊

伴 部隊

倉石部隊

輸送指揮官殿

謹而將兵各位ノ御壯途ヲ歡送ニ併セテ御

武運ノ御長久ト御健闘トヲ御祈リ由上候

備首題ノ件當驛ニ於テ給養實施並之ニ伴フ御依頼ニ關

シテ概テ左記要領ニ依リ手配致居候モ比較的内地人モ

少ク歡送或ハ配給ニモ御期待ニ兼テハ點ヲ有之候モ地

方側ノ各有志並一般邑民ハ何レモ熱誠以テ御歡送申上
ル手配ヲ致シ居候ハ何卒御諒承被下度候

左記

一給養計畫ニ就テ

ト全般ノ給養計畫並献立ハ別紙計畫ノ如ク畫定(す
レト加給品)

二給養品配給要領

各車輛毎ノ人員ニ區分シボートハニ非列準備ニアリ
列車到着ト共ニ責任者ニ一括交付シ責任者ハ之ヲ列
車内ニテ各人ニ支給之カ爲各車輛毎ノ人員ヲ別紙ニ

記入ノ上責任者ヲ配給所ニ差出サレ度

3 采トム中待合所ヲ進士官以テ休憩所トシテ準備シ

アルニ挾隘ナルモ以テ諒トモラニ度

4 湯茶ノ補給所ハ別紙要圖ノ如ク四ヶ所ニ準備シアリ

5 洗面所及便所ハ別紙要圖ノ如ク設備シアルニ付利用セラ

レ度

6 構内ニ在リ日用品ヲ販賣致スヘキニ付御承知被下度

尚他ノ品目ニ關シ必要ノ節ハ成ルルハク當驛御到着前

ニ連絡セラレ度

(1) サイダー十七莖 (2) 煙草及マッチ (3) 塵紙十莖 (4) 仁丹十莖

(5) キマラメル 五考 (6) 切手類 (7) 新聞 五考
六考 (因也)

(8) 雜誌 富士 六考 講談 六考
オキニ 毎日 十五考 (特別号 三考)

二 御依頼事項

一 當驛給養委員並同助手ハ左腕ニ腕章(薄黄ノモ)ヲ附シ
アリ萬事連絡御利用セラレ度

二 郵便物ノ差出ハ從來ノ經驗ヨリ直接地人ニ依頼セス特別
當驛ニ設備カルポストニ投函セラル、カ、或ハ憲兵又ハ給養
委員並同助手タル下士官ニ投函ヲ要求セラレ度

三 當駅ノ施設上構内線路ノ横断ハ禁示セラレ度必ス通路ヲ
通過セシラレ度(通路標示アリ)其通路別紙要圖ノ如シ

附録

請書

今般城津停車場ニ於テ軍隊給養ノ辦當供給
方即下命相成候ニ付テ左記條項確守シ決シテ
違背仕間敷為後日請書目及提出候也

左記

第一條 献立ハ別紙ノ通りトス

第二條 辦當ハ折詰トシ一箇毎ニ紙包トシガム紐掛トス

第三條 供給数量ハ所要二十時間前迄ニ官ヲ指示
セラル、又ノトシ若干ノ増減アルモ異議ヲ申立テサルヌ

トス尚豫備トシテ別ニ供給数量百個ニ付キ、
個ノ割合ヲ以テ無償ニテ同時ニ供給スルヲトス

第四條 價格ハ准士官以上一名ニ付六拾錢下士官以

下一名ニ付五拾錢トシ本金額ニ加給品ヲ含ムノ

トス

第五條 炊事開始時刻ハ係官ノ指示ニ遵フモノトス
第六條 献立ニ用ケル材料ハ特ニ注意シ新鮮ナルモノ

ヲ用ヒ炊事開始前係官ノ検査ヲ受クルモノトス
野菜及果物類ハワケロール石灰ニシテ消毒スルモノトス

第七條 食中毒防止ノ為拵詰ハ冷却後之ヲ行ヒ又

拵詰後ニ温突上等ニ置クモノトス
第八條 拵詰ハ十個宛紐ヲ以テ括リ員数検査及

分配ニ便スルモノトス
第九條 納入時刻ハ係官ノ指示スルヲ以テ時間ニ特ニ厳

守スルモノトス
第十條 係官ハ隨時炊事場及倉庫等ニ立會ヒ

所要ノ検査ヲ行フモノトス此ノ場合ハ與ヘラレタル
指示又ハ注意ニ従フモノトス

第十三條 給養食品の配_ニ要スル設備中輕易ナル事項ハ係官ノ指示ニ依リ所要ノ經費ハ供給者之ヲ負担ス

第十四條 醫官ニ於テ病人看護者又ハ家族使用人ノ健康状態清潔保清其他ニ就キ検査ヲ要スル場合ハ之ニ應スルモノトス

第十五條 供給者ハ食中並母検査用トシテ別ニ一食分ヲ第三條ニ関係ナク提供スルモノトス

第十六條 供給者ハ辨當供給日時員数其他機密ニ係ル事項一切漏洩ノ防止ニ努メ且調理現場ニ無用ノ者ヲ近寄ラシメス必要ニ應ジ憲兵ト連繫シ所要ノ處置ヲ講スル如クス

第十七條 代金ハ辨當供給後係官ヨリ支拂ヲ受ケルモノトス

昭和十三年四月三十日

咸鏡北道城津郡城津邑

城津給養委員長殿

1125